

第4章 イタリア

勝者なき総選挙後の混乱

2011年末に首相に就任し、財政危機を収束させたモンティは、2013年の議会任期切れを前に辞意を表明し、同年の総選挙には自らが起こした中道新党「市民の選択」を率いて参戦することを表明した。中道右派を率いるベルルスコーニと、ブログと集会を駆使して支持を拡大した新興の左派系ポピュリスト政党「五つ星運動」の指導者グリッロは緊縮政策批判を強めたが、中道左派の民主党書記長ベルサーニは慎重な態度に徹した。

選挙結果は、中道左派が僅差で中道右派に勝利し、下院では勝者プレミアムのおかげで安定多数を得たが、上院では中道左派、中道右派とも過半数を制することはできず、どちらかに「市民の選択」を加えても過半数は得られず、五つ星運動はいずれの勢力とも連立を拒んだため、政権成立は困難であった。

新政権が成立しないまま、任期満了を迎えた大統領選挙が行われることになり、中道左派、中道右派が共同の候補を推すことで妥協が図られた。ところが、左派の一部がこれに造反し、2回の投票を経ても選出できなかった。次にベルサーニはプローディ元首相を担いだが、これも失敗し、最後は中道左派、中道右派、中道の3勢力が引退予定だった高齢のナポリターノ大統領に異例の再選受諾を要請、6回目の投票でようやく当選が決まった。混乱の責任をとって、ベルサーニは民主党書記長を辞任した。

ナポリターノ大統領の選出後、彼を推した3勢力による大連立政権が成立し、新首相に民主党のレッタが就任した。レッタ内閣は、共和制初の大連立政権であり、中道右派との妥協を強いられた。ただし、ケニア出身の黒人女性キャンジュを統合担当相に起用するなど政策には新味も見られた。また、ランペドゥーサ沖で多数の移民が死亡した事故が発生した2013年10月には、イタリア独自の救出活動「マーレ・ノストルム」作戦をリビア沖で開始した。しかし、この活動は移民の増加を抑えられず、翌年にイタリア・マルタ沿岸に規模を縮小したEU主導のトリトン作戦に転換している。

レッタ政権の連立与党分裂の危機は、脱税で有罪が確定したベルルスコーニの議員資格剥奪の議会採決の直前に訪れた。議員資格剥奪の阻止をめざす中道右派の圧力の中で行われたレッタ政権の信任投票では、否決に自派をまとめられなかったベルルスコーニが信任賛成に転換し、いったん危機は収束した。これを契機に、中道右派の「自由の人民」は2つに分裂し、アルファーノ前書記長が率いる新党「新しい中道右派」が連立政権に残留し、ベルルスコーニが復活させた「フォルツァ・イタリア」が野党に転じた。ベルルスコーニは議員資格を剥奪されたが、政治活動は続けている。

レンツィ政権による制度改革と憲法改正国民投票の挫折

民主党では、若手改革派のフィレンツェ市長レンツィへの支持が高まり、2013年の書記

略年表

年 月	事 項
2013年2月	総選挙で中道左派、中道右派とも上院で多数取れず。五つ星運動が躍進。
4月	ナポリターノ大統領再選、レッタ大連立政権成立。
10月	地中海で多数の移民死亡の事故、マーレ・ノストルム作戦開始。
11月	ベルルスコーニの議員資格剥奪可決。被選挙権6年間停止。
14年2月	レンツィ政権成立。民主党と中道右派・中道の一部の連立を維持。
8月	エティハド航空、アリタリア・イタリア航空に49%出資で合意。
15年2月	マッタレッタ大統領就任。初のシチリア州出身大統領。
16年5月	同性パートナーシップ（民事連帯）法成立。
6月	統一地方選決選投票でローマ、トリノに五つ星運動の市長が誕生。
12月	憲法改正国民投票、反対多数（59.11%）、レンツィ首相辞任。

長予備選に勝利したレンツィは、執行部を若手で刷新、改革への取り組みが遅いとしてレッタを退陣させ、14年に首相に就任した。選挙結果によらない首相就任は問題含みだったが、同年の欧州議会選で民主党が得票率で40.8%を獲得し、その統治が半ば正当化された。翌年には、ナポリターノの後任の大統領に同党のマッタレッタを当選させている。

レンツィは、同性パートナーシップ法を成立させ、世俗派の期待に応えたが、アメリカのオバマ政権にならい、不当解雇の金銭的解決を可能にし、補助的労働のバウチャー支払いを認めるなど雇用規制を緩和した「ジョブズ・アクト（Jobs Act）」には、左派系の最大労組であるイタリア労働総同盟（CGIL）が反発し、同法の3項目を廃止する国民投票を提案するなど、伝統的左派支持層との対立も生じた。

レンツィは、改革を進めるためには、決定の迅速化を阻む上下両院の完全な平等性の解消が必要だとして、下院の選挙法を改正した。さらに、上院の地方代表議院化による下院優位の確立、提案型国民投票の導入、県の廃止、国家経済労働評議会（CNEL）の廃止などの憲法改正を議会で可決したが、国民投票を回避できる3分の2の支持は得られず、反対派の求める国民投票の実施を余儀なくされた。レンツィは結果に進退をかけたため、中道右派や五つ星運動などの反対派には左派の一部も加わり、レンツィ退陣をめざして論陣を張った。12月に行われた国民投票の結果は賛成が40.89%、反対が59.11%で、反対派の圧勝に終わり、レンツィ首相は辞任、ジェンティローニ外相が後任の首相に選出された。

地方政治にも、大きな変化が生じている。シチリア州は独自に県を廃止し、県は大都市圏とコムーネ（市町村）自治連合に再編された。2016年の統一地方選では、公金不正使用疑惑で辞任した中道左派の前任者に代わるローマ市長に五つ星運動の女性市議ラッジが選ば

れた。トリノでも五つ星運動の女性市長が誕生している。

レンツィ政権は政府経費削減や緊縮政策の見直しも行ったが、経済は依然低成長で、イタリアの政府債務は減少せず、ユーロ危機以降も膨らみ続けている。ECBによるストレステストの後も、一部の銀行の経営危機は続いており、増資に失敗したモンテ・デイ・パスキ・デイ・シエナ銀行には2016年末に公的資金が注入された。企業の再編も続いており、国内投資家が支えきれなかったイタリア・アリタリア航空は、2014年に中東系のエティハド航空の傘下に入った。

【八十田博人】

◆参考文献

伊藤武，2016年『イタリア現代史——第二次世界大戦からベルルスコーニ後まで』中公新書。

Carbone, Maurizio e Simona Piattoni (a cura di) , 2016, *Politica in Italia: I fatti dell'anno e le interpretazioni*, edizione 2016, Il Mulino.

Crainz, Guido e Carlo Fusaro, 2016, *Aggiornare la costituzione: Storia e ragioni di una riforma*, Donzelli.

Fusaro, Carlo e Amie Kreppel, (a cura di) , 2014, *Politica in Italia: I fatti dell'anno e le interpretazioni*, edizione 2014, Il Mulino.

Hanretty, Chris e Stefania Profeti (a cura di) , 2015, *Politica in Italia: I fatti dell'anno e le interpretazioni*, edizione 2015, Il Mulino.